

泉の自治だより

題字 矢島成剛県議

No. 81

発行所 泉町連合区
発行責任者 連合区会長 和田全弘
事務局 (泉公民館内)
土岐市泉中窪町 TEL 55-3653
編集部長 垣見 紘一



友画会
千原千代子

一年を振り返って

久尻区長 河合 哲心

筆頭副会長として

本年度会長の和田全弘氏が六月に入院手術をされ、二、三週間退院できると聞いていました。退院は十二月でありましたが、そのため、筆頭副会長の私が代行を務めました。ただ、恒例の行事はそれぞれの部署で完璧にやっていたので、滞りなくできました。

泉連合区の要望書について

泉連合区の要望書については、会長の退院を待っていましたが、十一月末日に市長から解答書が来た次第です。その中で、泉公民館の再建が一番の課題であり、来年度の最重要課題として引き継ぎたいと思います。

昨年、引き継ぎをしたときに、新役員で「明るく、楽しくやろう」と区会で宣言をし、あつという間に今日に至りました。スタッフに恵まれて、天候にも恵まれて、年間行事は滞りなく予定通り行うことができました。ただ、第四十七回泉町運動会に種目限定で参加したり、第二十回久尻区ソフトボール大会にチームが作れず不参加の町内があったり、高齢化社会が急ピッチで進展している印象を深めました。

いす。また、中央道高架大側から泉北団地交差点までの歩道設置工事も十八年度、十九年度で完成する予定です。これからは「土岐・可児線住民参画型道づくり委員会」(平成二十二年設立)の地道な努力によるところが大きいと思います。さらに、平成の初め頃、計画が粗上に載った文化会館前の信号設置・拡幅工事が一度頓挫していたのを復活し、測量までこぎつけたのもこの委員会の努力であります。これらの整備がすべて完成すると泉道土岐・可児線は念願が叶うわけです。

十八年度大富区の活動

大富区長 水野 正彦

区長という重責をお引受けて早くも一年が過ぎようとしています。この間、区役員各位のご理解ご協力と、皆様方のご指導ご鞭撻の賜物と心より感謝御礼を申し上げます。

大富区が安全・安心で明るく住みよい街になるよう「今区としてやらねばならぬ事は何か、今区として出来る事は何か」を整理して、取り敢えず出来る事を「十八年度の事業計画」として、立案その計画達成のため、トヨタ流「カイゼン」方式で活動を始めました。

等しい実績でした。又、大富山の道路整備と樹木等の不法採取者対策を実施してはいますが、何れも未解決で、今後の課題となっております。

今年度の区テーマ

「防犯・防災活動」

「防犯・防災活動」に取り組む事に致しました。行政のみに頼ることなく、「地域の安全は地域で守る」をモットーに、役員自らの行動を、先ず出来る事から開始しました。

一年を振り返って

定林寺区長 深谷 幸作

市原部長を中心に二十三名がボランティア活動等を通じ地域の発展のため諸行事と共に、種々の講演会等を開催、とても好評であったと思います。又、区の行事にも積極的にご協力頂き感謝致しております。

昨年一月、思いもよらない区長指名、何んぞ浅学非才な私が努まらざるやろうかと思ひ悩んだことが昨日のように感じられます。幸にも区民各位の温かいご支援ご協力の賜、両副区長、各町内会長さんを始め女性部の方々、素晴らしい仲間が助けられ大過なく楽しく努めさせて頂く事が出来ましたこと心より感謝申し上げます。又、財管委員の皆様にも時宜を得たご指導ご助言を賜りお礼申し上げます。

者の姿が見受けられ盛況でした。祭り準備の為各町内では連日連夜の制作が出来ます。定林寺区の区民総出に近い参加協賛により従前と変りなく盛大に夏祭りを挙げて来ました。こうした区の古き良き伝統の祭りは名称変更にかかわらず区民の絆をより強固に結び子供達の思い出に残る夏祭りとして継承していく事が重要です。

前年度から継続中の園戸地区内のフェロシルトの撤去については、十八年七月末に漸く全量撤去されその後良質土で埋戻し、整地され本年一月十七日に完了しました。今後、法面の種子吹付け、植栽が施され四月末迄に終了予定と聞いています。撤去監視委員長さんの連日に渡る監視と熱意に敬意を表しますと共に監視員各位のご協力に感謝申し上げます。

行事報告

- 1/1 泉町新年歩け歩け大会
 - 7 土岐市消防団初め式
 - 8 土岐市成人式
 - 9 土岐市連合自治会連絡協議会・理事会
 - 10 泉町連合区臨時議会
 - 20 泉町連合区定例会
 - 23 泉町職者推薦委員会
 - 2/1 泉町連合区臨時議会
 - 5 土岐市連合自治会連絡協議会・理事会
 - 13 泉町連合区三役会
 - 17 泉町連合区定例会
 - 3/4 女性部新旧顔合せ・引継会
 - 3/5 土岐市連合自治会連絡協議会・理事会
 - 9 土岐市連合自治会連絡協議会・お別れ会
 - 13 泉町連合区三役会
 - 17 泉町連合区定例会
- 通年駅周辺パトロールの実施

行事予定

- 3/23 平成十八年度泉町連合区会計監査
 - 25 土岐市消防団入退団式
 - 26 平成十八年度・第二回泉町連合区総会・お別れ会
 - 28 新旧役員顔合わせ・引継会
- 泉の自治だより編集
部員引継



岐阜新聞社提供

「今年一年を振り返って」と「駅前区の課題」

駅前区長 土本 勇夫

区長を仰せつかってから一年、この重責の心配を三役の皆さんや町内会長の皆さんや各町内協力の皆さん、つづき無く行事を遂行出来ました。心より感謝申し上げます。駅前区の大きな行事としては、毎年行われていた「駅前祇園祭」があります。今年は例年通り女性部による「盆踊り」と新企画として、昔なつかしい昭和三十年代のレトロな駅前を再現しようと「造り物」大会を復活致しました。市当局、商工会議所、各種団体、学校関係、住民の全ての人達のご協力により大成功を修める事が出来ました。誠に感謝を申し上げます。この行事が今後も増々大きく発展し、継続される事を切に希望するものであります。

又、本年度は念願でありました西の踏み切りの拡幅工事も、この十二月に完了しました。「新土岐津線道づくり委員会」も活発に開催され土岐駅前より西の踏み切り迄の六五〇mを、平成二十三年迄に十六mの幅員道路にすべき活動が、予定通り具体的に動き出された事を確認出来た年となりました。今後五年間で完成される事を願っています。区が今年要望致しました駅前区独自の防災倉庫設置の件も、来年度予算が付く予定で来年度施行される事と成るでしょう。又、永久橋北の交差点「一方通行の解消」の要望は、市当局と再度

一年を締めくくって

河合区長 長保母 國彦

の話し合いにより、早期改善の様再度検討していただく運びと成りました。今後の駅前課題は何と云っても「中心市街地整備事業」を具体的に推し進める事であり、二十余年以上に渡り全く投資されなかった土岐市に表玄関が「中心市街地整備事業」として具体的に動き出す年と成りました。何よりも必要なことは、住民の皆さんの御協力は基より、この大事業を推し進める為には、市当局の強い改革意識と、市長さん始め市会議員、県会議員、国会議員の皆さんの強い政治力がなければ一歩も進むことは出来ません。市当局も財政的に苦しい事は百も承知の上、土岐市の玄関に何よりも最優先した先行投資をすべきではないでしょうか。小手先の改善ではなく抜本的な大改革なくして中心市街地の整備事業は出来るはずがありません。駅前区や駅前商店街の皆さんだけでなく、土岐市の市民一人一人が土岐市の顔であります。表玄関の駅前を、このまま放置せず一丸となって整備事業を推進すべく気運を高めて市民として整備事業に参加され推進のお力添えをいただきます様切にお願い申し上げます。私もこの一年区長として勉強させていただいた事を生かし、発展の力に成れば幸だと思っております。末筆であります。が区民の皆様には一年間ご協力を賜わりまして誠にありがとうございます。

一年を締めくくって

河合区長 長保母 國彦

重責を引き受けて一年、区民各位の区活動に対するご理解とご協力、区役員の協力と支え、諸先輩の助言で、若輩の私が無事に区長の務めを終えることに衷心より感謝申し上げます。河合区の懸案事項であります下水道整備、区画整理、公民館改築、甘草溜池改修、区財政難等と沢山の課題があります。下水道整備は、歴代区長と行政が毎年協議され今年度も引続き行政と協議し、河合区として早期着工を要望致しましたが回答は以前と同じ区画整理事業との兼ね合いで二重投資はできない。但し、明治街道(県道河合多治見線)付近については、平成二十一年度実施設計委託を行う予定になつていく旨の回答を得ております。

一年を終えて

定林寺女性部長として

お引受けをしたら連合区

女性部長も定林寺の当番

ですと知らされ驚きまし

た。戸惑いや不安でいっ

ぱいで、私に出来るのか

と心配でした。

婦人会から女性部に変わ

って四年目での様な活

動をするのか、まった

く分からないまま前年度

の部長さんから資料を頂

いて拝見し、沢山の行事

があるのに驚きました。

この一年印象にあるのは

盆踊りや、公民館まつり

の日用品バザー等があり

ました。泉町の敬老会

は準備等大変でしたが参

加者の方々に「よかった

とか「楽しかった」と言

って頂いた時は本当に嬉

しかったです。

私にとってこの一年間

今までにない様々な体験

をしてみえます。この八幡

社、津島神社双方の建立

由來、神馬神輿、賤洞の

仲間にも出逢うことが出

て有意義な日々でした。

そして沢山の方のご協

力とご支援を頂き無事に

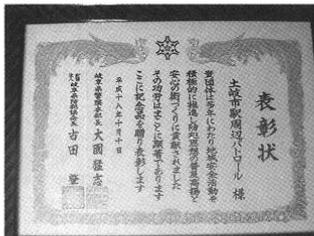
終える事ができました。

御礼申し上げます。

有難うございました。

来ても有意義な日々でした。

そして沢山の方のご協



反対に嬉しかった事は「安全・安心まちづくり」のために大勢の皆さんがいろんな形で参加していただいたこと、そして皆さんで取り組んだ「駅前周辺パトロール」事業が岐阜県警察本部長・岐阜県防犯協会長の表彰を受けました。日本の安全神話が崩れた今、「安全・安心まちづくり」のために町民一人一人が、出来る事を、出来る時間に参加して行くことこそ大切で今後とも息永く続けられる事を望んでやみません。また大変に心配で夜も眠れなかつた事もありました。台風のため準備が出来てきた「敬老会」が開催できるか中止になるか、とくに女性部の皆さんは一年の半分以上を敬老会の準備に費やし、前日に準備完了したものの台風情報により当日の朝開催が中止か判断することとなり、眠れなかつた一夜、だつたと想像しました。

振り返って思う 泉連合区から総務の指命を受け、事務を担当させていただきましたが、振り返りますといろいろな事がありました。悲しかった事では、匿名の手紙により連合区を誹謗されたことでありました。発言と責任は表裏一体であるべきもので、匿名という責任を持たない人の発言は無視をいたしました。またそんな人のいることが大変に悲しく、いやな思い出となりました。

あれやこれといろいろありましたが、何といても大変だった事は十八年度に入って、会長の入院という想定もしていなかった。会長の職務代理と区長の兼務は大変だったと思いますが、筆頭副会長を中心に結束してなんとか難局を乗り越えて来られました。普段なら経験することもない担当以外の諸業務も皆で担当しなければならず何事にも臨機応変に対応することも学びました。この事が結果的には来期へスムーズな繋がりに発展して行ったものと思

ます。経験させていただいた期間には、行政等公的機関からの下請的な依頼もまだまだ多く、その仕事に振り回されたことや自治会本来の任務やその方向を模索した二年間でありました。しかしながら、その中にも一条の光を見たのには前に述べた「安全・安心まちづくり」を連合区の事業として位置づけ、取り組んだとき「泉町を守る」ため多くの人達が事業に参加する姿を見た時です。何故かレンブラントの絵「夜警」が頭に浮かび、中世ヨーロッパの都市国家が成立する過程の中で、市民が互いに知恵を出し合い、行動し形成していった自治の歴史の一端を垣間見たような気がいたしました。「地域は自分達で守る」その行動こそが自治活動の原点のようだと改めて実感しました。

